

副腎クリーゼに関する研究

研究分担者 大月 道夫 大阪大学大学院医学系研究科准教授
研究分担者 武田 仁勇 浅ノ川総合病院糖尿病内分泌センターセンター長
研究分担者 曾根 正勝 聖マリアンナ医科大学医学部教授
研究分担者 西山 充 高知大学教育研究医療学系臨床医学部門教授
研究分担者 田島 敏広 自治医科大学医学部教授
研究分担者 石井 智弘 慶應義塾大学医学部小児科学教室准教授
研究分担者 前田 恵理 秋田大学大学院医学系研究科准教授

研究要旨

本邦成人における副腎クリーゼの実態を明らかにするための調査票の修正を行った。副腎クリーゼに対するヒドロコルチゾン自己注射が保険収載された。

A. 研究目的

本邦成人における副腎クリーゼの実態を明らかにする。さらに副腎クリーゼに対するヒドロコルチゾン自己注射を保険収載する。

B. 研究方法

本邦成人における副腎クリーゼの実態調のための調査票を用い、本研究班班員への調査を行い、調査票の修正を行う。副腎クリーゼに対するヒドロコルチゾン自己注射の保険収載を本研究班・日本内分泌学会・日本小児内分泌学会合同で申請した。

(倫理面への配慮)

慶應義塾大学医学部倫理委員会の承認を得て行った（承認番号 20170131）。

C. 研究結果

本邦成人における副腎クリーゼの実態調のための調査票の修正を行った。令和 2 年 4 月に副腎クリーゼに対するヒドロコルチゾンコハク酸エステルナトリウム製剤が在宅自己注射可能薬として保険で認められた。

D. 考察

本邦成人における副腎クリーゼの実態調のための調査票の修正が終了したことにより、全国調査の準備がほぼ整った。副腎クリーゼに対するヒドロコルチゾン自己注射が保険収載され、患者家族の QOL が改善した。

E. 結論

本邦成人における副腎クリーゼの実態調のための調査票の修正を行った。副腎クリーゼに対するヒドロコルチゾン自己注射が保険収載された。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む。)

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし